

# 手話を学ぼう！北斗ろう協会の方を招いて！

## 萩野小学校

北斗市では、「手話が言語である」との認識に基づき、北斗市民がろう者及び手話に対する理解を深め、地域で支え合い、お互いの人格と個性を尊重し合い、共生する社会を目指してつくられた「北斗市手話言語条例」が平成31年に制定されています。



【北斗市手話言語条例】

これまで、各学年の総合的な学習、生活科、音楽の授業などで、簡単な手話表現について学習したり、歌詞の内容を手話で表現して歌ったりする学習をしてきました。

令和4年度は、6年生の総合的な学習で、北斗ろう協会や手話通訳者の方たちに協力をいただき、より深く、手話の学習を行ったので、その実践について紹介いたします。

### 学習した手話表現

「あいさつ」

- ・おはようございます
- ・こんにちは
- ・こんばんは
- ・ありがとうございます
- ・よろしくお願ひします など

「指文字を使った名前の伝え方」

「数字を使った誕生日の伝え方」

「好き・得意などを使った趣味の伝え方」

8月から9月にかけて8回の総合的な学習の時間に、「手話を学ぼう」として、ろう者や手話通訳者の方に学校に来ていただき、学習に取り組みました。

まず初めに、ろう者の方に日常生活について、お話ししていただきました。

「日常生活では、こんなことが困る。こうしてほしい」などのお話を、子供たちは、とても真剣に聞いていました。

その後の手話学習で、あいさつ、自己紹介、趣味の表現などについて習い、繰り返し練習しました。また、学習発表会で披露する「野に咲く花のように」の手話コーラスも教えていただきました。



【手話コーラス  
野に咲く  
花のように】



【手話学習の様子】

10月に行われた学習発表会では、手話について学んだことをグループに分かれて発表し、全員で「野に咲く花のように」の手話コーラスを披露しました。当日、手話を教えていただいた北斗ろう協会や手話通訳者の方を招待して、子どもたちの発表を見ていただきました。

子供たちは、今回の手話学習を通して、ろう者への理解や、思いやりを大事にする心をもつことができました。

子供たちの感想から

・今まであまり手話にふれることはなかったのですが、今回学ぶことができました。耳が聞こえなくて困ることなども知ることができました。

・これからは耳が聞こえない人がいたら、手話や身ぶり、紙に書いてあげたりしようと思います。手話をたくさん習って、家の人などに教えてあげたいです。

・本やネットで調べても難しくて覚えられないけど、ていねいに教えてもらって覚えることができました。

・私は、手話をもっと知りたい、覚えたいと思いました。

・今回の授業を通して、「手話を使うと耳が聞こえない人も聞こえる人も楽しく話すことができる」と気づきました。だからこそ、もっと手話を練習して上手になりたいです。



【発表後にろう協会の方と話す子供たち】

(萩野小学校 教諭 高橋 結香)